



農業をしている方 田んぼや畑をお持ちの方など

「地域計画」を皆で考えてみませんか？



日本の農業の問題点



農業をする人が減っています

15年で
約90万人減少



・経営している農地が
飛んでいます

・荒れた農地が
増えています



皆さんの地域でも同じような悩みはありませんか？

地域計画とは？

将来

地域農業の将来について

- 地域が一体となって取り組んでいくこと
- ・地域野菜のブランド化を目指そう！
 - ・スマート農業を活用し省力化を目指そう！
 - ・有機農業を推進しよう！
- など

目標地図(農地利用の将来の設計図)

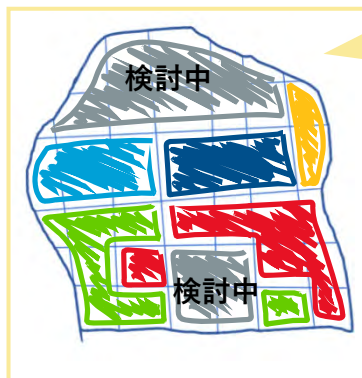
- およそ10年後について
- ・誰がどここの農地を利用するか
 - ・農地の貸し借りや交換
 - ・新たな担い手の募集

これらを地域における話し合いによって決めていくものです。

目標地図の完成まで

現況地図

目標地図 ※いったん完成



少しずつ
完成度を
高めて



地域計画の策定手順については裏面で！

最終的な理想形

最初からきれいな
地図を作る必要は
ありません。

皆さんで話し合いを
重ねていきましょう。

地域計画を作り上げるまでの流れ（イメージ）



この流れはあくまでも例なので、地域によって進め方は変わります。

市町村

協議の場の開催
に向けて調整

- ・意向調査
(農業委員会と共同で実施予定)
- ・参加者への呼びかけ など



農業委員会

今の耕作状況や、意向調査結果を踏
まえた将来の耕作意向を地図として
作成（**現況地図**、**目標地図の素案**）

※作成した地図を協議の場に持ち込む

地域の皆さん

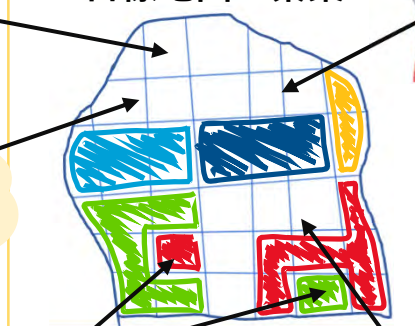
協議の場の開催

ここら辺は近くで借りたい人
が見つからないから、外から
担い手を探すエリアにしよう
か？

この農地誰が使
う予定だっけ？

地域の皆さんが集まり、
今後どのように農地を
利用していくか地図を
使って話し合います。

目標地図の素案



このままだと
誰も耕作する人
がいない...

この農地交換
してみようか

この農地も
借りたい！

完成した目標地図



市町村

地域の話合いに基づき**地域計画を策定**

策定した後も、親族相続を除いた**耕作者の変更**
や、**区域の変更**など適宜計画の変更を行って
いきます。

農地バンク

完成した目標地図とおりの
農地の利用ができる
よう手助け



～地域計画策定のメリット～

- ① 将来の地域農業について地域一体となって協議する場ができる！
- ② 現況地図の作成・共有により、現在の耕作状況が見える化できる！
- ③ 若手農家の規模拡大や新規就農者の積極的な受入れができる！
- ④ 国の補助事業等が活用できる！